

第 19 回 社会福祉士 専門科目（やまだ塾）

国家試験 問題・解説

＝④社会福祉援助技術＝（問題 111～問題 122）

（2007 年 2 月 14 日ホームページ掲載）

【社会福祉援助技術】

問題 111 社会資源に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 社会資源は、フォーマルなものとインフォーマルなものに区分することができる。
- B. 社会資源は、その性質によって、物的資源、人的資源、文化的資源、社会関係的資源などに分類することができる。
- C. ソーシャルワーク実践には、社会資源の再活性化や新たな資源の創出に向けた活動が含まれる。
- D. 社会資源と人々をつなぐソーシャルワーク実践は、ケアマネジメントの手法が定着後に行われるようになった。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 112 日本社会福祉士会の倫理綱領（2005年採択）に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 前文において、利用者と市民への責任から倫理綱領を遵守することを誓約し、社会と国が是認することをもって、専門職団体を組織すると定めている。
- B. 価値と原則では、「誠実」を明記し、社会福祉士は倫理綱領に対して常に誠実であると定めている。
- C. 実践現場における倫理責任の一つとして、社会福祉士は、常に業務を点検し評価を行い、業務改善を推進すると定めている。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D. 社会に対する倫理責任の一つとして、人々をあらゆる差別、貧困、抑圧、排除、暴力、環境破壊などから守り、包含的な社会を目指すよう努めると定めている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問題 113 社会福祉援助技術のアプローチに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

1. スモーリー(Smalley, R.)は、「診断派アプローチ」を発展させ、ソーシャルワーク実践の5原則を提唱した。
2. ラップ(Rapp, C.)は、重い精神障害をもつ人々の地域生活を支援するための「コミュニティアプローチ」を提唱した。
3. パールマン(Perlman, H.)は、ソーシャルケースワークの実践モデルである診断主義と機能主義を折衷的に発展させた「統合アプローチ」によって両者の論争を収束させた。
4. リード(Reid, W.)は、効果測定に基づく実証主義的な手法で「課題中心アプローチ」を開発した。
5. ハートマン(Hartman, A.)は、家族システムを重視した介入法として「心理社会的アプローチ」を体系化した。

問題 114 ソーシャルワークの援助過程におけるアセスメント機能に関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

アセスメントの目的は、利用者の生活問題に関して情報を収集し、その分析に基づいて目標設定等のための(A)の方向づけを行うことである。そして、アセスメントの過程では、利用者のみならず(B)についても情報収集する必要がある。また、アセスメントで用いられるエコマップやジェノグラムは、利用者の置かれている状況を(C)し、文章による説明を補う機能を持っている。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	プランニング……	環 境……	組織化

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 2 プランニング……環境……視覚化
- 3 プランニング……家族……組織化
- 4 インターベンション……家族……視覚化
- 5 インターベンション……環境……組織化

問題 115 個別援助の理論に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 課題中心アプローチは、クライアントとともに課題を明確にし、計画的かつ短期に援助する方法である。
- B. 行動変容アプローチは、ストレス・コーピング理論をケースワークに応用したもので、特定の問題行動の変容を目標に援助する方法である。
- C. 問題解決アプローチは、人の自我機能としての問題解決能力を重視し、役割機能上の問題に対処できるように援助する方法である。
- D. 機能派アプローチは、無意識下にあるものを意識化させ、治療的に援助する方法である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 116 ロスマン(Rothman, J.)の「コミュニティ・オーガニゼーションの3つのモデル」に関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

(A)モデルでは、目標の決定や活動において、住民参加を重視する伝統的な方法で、地域社会の協働的な問題解決能力が強調された。(B)モデルでは、専門技術的な過程を重視し、合理的に統制された変革や社会資源の配分に高い関心が置かれた。(C)モデルは、不利な立場にある住民の発言権を増大させ、待遇の改善や社会資源の開発を通して、権力構造そのものの変革を目指した。

(組み合わせ)

- | A | B | C |
|---|---|---|
|---|---|---|

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

- 1 地域開発………社会計画………ソーシャル・アクション
- 2 社会計画………ソーシャル・アクション………地域開発
- 3 ソーシャル・アクション………社会計画………地域開発
- 4 地域開発………ソーシャル・アクション………社会計画
- 5 社会計画………地域開発………ソーシャル・アクション

問題 117 福祉サービスを評価するための方法の一つである古典的実験計画法(プリテスト・ポストテスト統制群法)に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 援助を行う前のクライアントの状況を事前評価するために、ベースラインでクライアントの状況を観察・測定する。
- B. クライアントを実験群と統制群に分ける際、無作為割当(分配)を行う。
- C. 実験群と統制群との比較・評価を行うために、援助実施前後にクライアントの状況を観察・測定する。
- D. 援助を受けるグループを統制群という。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 118 コンサルテーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. コンサルテーションとは、対人援助の専門職が課題解決のために、特定の領域の専門職から情報・知識・技術を習得する過程を指す。
- B. コンサルテーションには、ソーシャルワーカーを監督・指導する管理的機能がある。
- C. コンサルテーションでは、必要に応じてソーシャルワーカー同士で専門的な意見を求め合うこともある。
- D. コンサルテーションには、上下関係があり、コンサルテーションを行う者の権威が反映される。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 119 北米におけるソーシャルワークの統合化に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

1. 統合化とは、ケースワーク、グループワーク、ソーシャルアドミニストレーションの共通基盤を明確にして、一体化してとらえようとする動向である。
2. 統合化への先駆けとなったのは、ミルフォード会議の報告書(1929年)において、「スペシフィック」という概念が示されたことである。
3. 統合化の背景には、複雑化、深刻化するクライアントの生活問題に、ソーシャルワーカーが効果的に対処していたという実態があった。
4. 統合化において、大きな影響を与えた理論の一つに、システム理論がある。
5. 統合化は、ソーシャルワークの体系化を遅らせ、ソーシャルワーカーのアイデンティティを混乱させるもととなった。

問題 120 コノプカ(Konopka, G.)によるグループワークの原則に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 「参加の原則」とは、グループワーカーが積極的にプログラムに参加することで、メンバーの問題をワーカーが解決していくことである。
- B. 「個別化の原則」には、メンバー個人の相違点を認識するための個別化と、当該グループを他のグループとは違う固有の特徴をもつグループとして認識するグループの個別化とがある。
- C. 「葛藤解決の原則」とは、グループワーカーの援助によって、グループの相互作用のなかで生じる葛藤やメンバー個人の内面的葛藤の解決を促すことである。
- D. 「制限の原則」とは、受け入れの無条件的許容ではなく、メンバー及びグループのニードと団体・機関の機能に照らした建設的な制限を加えることである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 121 バイステック(Biestek, F.)のケースワークの原則に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

1. クライアントは、自分に関する内密の情報をできる限り秘密のままで守りたいというニーズを持っているところから、「秘密保持の原則」が導き出された。
2. クライアントは、自分の人生に関する選択と決定を自ら行いたいというニーズを持っているところから、「自己決定の原則」が導き出された。
3. クライアントは、個人として迎えられ、対応してほしいというニーズを持っているところから、「非審判的態度の原則」が導き出された。
4. クライアントは、一人の価値ある人間として受け止められたいというニーズを持っているところから、「受容の原則」が導き出された。
5. クライアントは、自分の感情表現に対して共感的な理解と適切な反応を得たいというニーズを持っているところから、「統制された情緒的関与の原則」が導き出された。

問題 122 地域福祉計画の策定に当たって活用される方法に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. KJ法は、時間軸に沿った作業の一覧表を作成して進捗状況を管理する方法である。
- B.ブレインストーミング法は、自由な発想の討議を行う方法である。
- C. パート法は、実施段階で準備作業単位ごとにネットワーク図を描く方法である。
- D. デルファイ法は、アンケート調査で、専門家等の意見を集約・収斂していく方法である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

3	×	○	○	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○